

HISTORY & GEOGRAPHY

江戸時代には宿場町、今は首都のベッドタウンとして栄える都市

埼玉県東南部の中核都市として約34万人が暮らす越谷市。多くの河川や用水が流れていることから、「水郷こしがや」として親しまれている。古くは、日光街道沿いの宿場町「越ヶ谷宿」として江戸時代に栄えた。1954年の町村合併で越谷町が形成され、1958年には、市制を施行し、越谷市が誕生した。1962年の東武伊勢崎線と日比谷線の相互乗り入れなどにより東京のベッドタウンとしての人気が高まり、市街化が進んだ。2008年に、越谷レイクタウンが“まちびらき”をし、さらに、2015年には中核市に移行するなど、魅力的なまちづくりに取り組んでいる。



ABOUT KOSHIGAYA

～越谷“素”小説をもっと楽しむために～

越谷市民の暮らしが描かれた「越谷素小説」。舞台となった越谷市の基本情報を紹介します！



越谷最古の寺院とされる大聖寺
#大相模不動尊 #境内の虹だんご



明治・大正期に建築された道具店、木下半助商店
#国の有形文化財 #日光街道



市民の憩いの場となっている葛西用水
#ウッドデッキ #噴水



しらこぼと橋
#元荒川 #葛西用水
#ランドマーク #高さ51m



季節ごとの行事も有名な越ヶ谷久伊豆神社
#三ノ宮卯之助銘の石 #藤まつり



上空から見る越谷レイクタウン
#2008年開設 #イオン
#大相模調節池

EVENT

水辺の四季を彩る暮らしのにぎわい

越谷の四季を彩るイベント、お祭りも折々に行われている。日本三大阿波踊りのひとつと言われる南越谷阿波踊り (P162) をはじめ、桜まつり、田んぼアート、花火大会、市民まつりなどでは、多くの人が集まり、にぎわいをみせる。また、江戸時代から300年以上続く越ヶ谷秋祭りや地域住民が育てた6万本のチューリップが集まる出羽チューリップコミュニティフェスタなど、歴史や地域性に溢れる特徴的な催しも充実。



元荒川堤の桜まつり

#桜300本 #元荒川



ディンギーパーク

#大相模調節池
#ユニバーサルデザイン



田んぼアート

#9回目 #阿炎関
#高さ80mの展望台



越谷花火大会

#5000発 #来場25万人
#葛西用水中土手



南越谷阿波踊り

#日本三大阿波踊り #新越谷駅
#南越谷駅



越ヶ谷秋まつり

#大山車 #江戸時代から
#日光街道

FOOD

良質で新鮮な農作物と、多彩な魅力の“こしがや愛されグルメ”

古くから農業が盛んな越谷市ではねぎ (P15) をはじめ、くわいやほうれん草、小松菜など、良質な野菜が生産されている。また、イチゴなどの果物狩りができる観光農園があり、2015年にオープンした「越谷いちごタウン」は関東最大級の規模を誇る。市民に愛され、地域に根ざした手土産や飲食店メニューを認証する「こしがや愛されグルメ」では、HPやinstagramでその魅力を発信し、食の景観づくりに取り組んでいる。 <https://lovegourmet.jp/>



出荷される越谷ねぎ

#名産 #高級食材 #鴨ねぎ鍋



全国有数の生産量を誇るくわい

#根菜 #オモダカ科 #緑起物



越谷いちごタウンのイチゴ

#イチゴ狩り農園 #関東最大



洋食店・厨Sawaのオムライス

#こしがや愛されグルメ
#「孤独のグルメ」にも登場



@Home Dining Salveの看板メニュー・パワーサラダ

#こしがや愛されグルメ
#女性に人気 #ボリューム満点



キャトーズ・ジュイエのシュー・ア・ラ・クレーム

#フランス菓子 #濃厚クリーム
#こしがや愛されグルメ